

4 定時制課程

○ 課程の特色

定時制課程は働きながら高校で学ぶ生徒のために設置されたものであり、午後5時ごろから9時ごろまで4時間程度を夜間に学習し、修業年限は4年が原則となっています。現在の定時制課程では、規定の単位を修得すれば3年間で卒業することができる「三修制」を取り入れている高校や、「学年制」ではなく「単位制」を取り入れている高校等、様々なタイプの特色のある高校が設置されています。下の表にまとめましたので、参照してください。

「単位制」である貞山高校や東松島高校、田尻さくら高校、仙台大志高校では、昼間部と夜間部とを相互に乗り入れする等により、1日4時間をこえた授業を受けることが可能になっています。



旋盤実習（古川工）

《定時制課程の公立高校》

※は仙台市立高校

	昼間部	夕・夜間部
普通科	白石七ヶ宿、貞山、田尻さくらⅠ部 東松島Ⅰ部、東松島Ⅱ部 石巻北飯野川、仙台大志Ⅰ部※	大河原商、名取、貞山 田尻さくらⅡ部、東松島Ⅲ部 佐沼、気仙沼、仙台大志Ⅱ部※
電気科		宮城二工、古川工
機械科		古川工、仙台工※
電子機械科		宮城二工
建築土木科		仙台工※

○ 主な学習内容

定時制課程で学習する教科・科目は、全日制課程とほとんど同じになっています。県内の定時制課程の高校には普通科と工業に関する学科があり、その学科によって教科・科目が異なります。全日制課程の普通科と工業に関する学科のページを参照してください。

なお、普通科においても、普通科目だけでなく選択の幅を広げるために商業等の専門科目を設置している学校があります。



授業風景（陶芸）（田尻さくら）

○ 学校生活

全日制課程と同じように、ホームルームや生徒会活動、部活動、その他文化祭や体育祭等の学校行事も活発に活動しています。



電子機械科課題研究（宮城二工）



学校行事（名取）

○ 卒業後の進路

在学中に勤めていた会社に正社員として就職する生徒や新たに就職する生徒、大学や専門学校に進学する生徒等、卒業後の進路は様々です。



5 通信制課程

○ 課程の特色

通信制課程は、年齢や職業、学力等を異にする生徒の皆さんが無理のない形で学習できる弾力性のあるシステムになっています。県内では、美田園高等学校が公立唯一の通信制高校です。

通信制高校は、『自学自習』が学習の基本スタイルです。その中で、報告課題（レポート）、面接指導（スクーリング）、試験（テスト）などを通して単位を修得します。

規定の単位数を修得すれば3年で卒業することも可能です。また、自分のペースに合わせて、卒業するまでに4年以上かけてもかまいません。



【報告課題（レポート）】

学校から送られてくる各科目の課題である「レポート」を、「教科書」や「学習書」（教科書の解説書）を活用して、自学自習で完成させ、期限を守って提出します。レポートは添削された後、返送されます。

科目の単位を修得するためには、科目毎に定められた回数を提出し、添削を受けて合格する必要があります。合格すると次のレポートに進むことができます。

【面接指導（スクーリング）】

学校等で先生から直接学習指導を受ける「スクーリング」と呼ばれる日があります。「スクーリング」は基本的には日曜日と月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）及び水曜日に行われます。

また、科目の単位を修得するためには、科目毎に最低限出席すべき回数（時数）が設定されており、それを満たさなければなりません。

【教科・科目】

通信制課程で学習する教科・科目は、全日制課程の普通科とほぼ同じです。普通科目以外に商業等の専門科目が開設されており、選択科目の幅を広げています。

○ 学校生活

生徒会が、スクーリングの日などを中心に活発に活動しています。活動内容は、各種行事の企画・運営、機関誌や生徒会誌の発行、ボランティア活動と多岐にわたります。

このような活動は、幅広い年齢層の生徒が通う通信制において仲間作りのきっかけとなり、年齢差をこえた交流の中で様々な生き方を学ぶことができます。また、このような活動を通して学習継続の励まし合いと思いの形成にもなっています。



○ 卒業後の進路

現状では、卒業後に新たに就職する生徒が20名程度います。また、大学や専門学校を目指す生徒が年々増えてきています。